OPEN STREET FUKUYAMA 2020 vol.5

新しい日常下での、にぎわいづくりの社会実験

開催報告

福山駅前等歩道空間活用社会実験

主催：福山駅前等歩道空間活用社会実験実行委員会
（事務局　福山商工会議所）

福山駅前の再生の機運を高めようと、福山駅前を中心とした公共歩道空間の賑わい創出、歩行者の回遊性向上を目的とした「OPEN STREET FUKUYAMA 2020 vol.5」を10月17日(土)・18日(日)の2日間実施しました。

５回目の開催となる今回は、ウイズコロナの観点から独自の開催基準を設けるとともに、来場者や出展者への感染防止対策を徹底した中で、歩道にはテラス席のほか、キッチンカーや雑貨販売などのテントが並び、回遊性を促すコンテンツとして、各エリアへ「花オブジェ」を設置し、歩道空間を彩りました。

コロナ禍の中、市内で開催される久方ぶりのイベントでしたが、両日とも多くの来街者があり、福山駅周辺の開放的な空間での飲食や買い物、散策などを楽しまれていました。

コロナ禍でのOPEN STREET FUKUYAMA開催基準

1) 緊急事態宣言、営業自粛要請等特措法に基づく要請が発令されていない。
2) 広島県の感染状況レベルが「1」である。
3) 市内において、感染者の拡大により独自の警戒宣言が発令されていない。
4) 集客予定数等国のイベント開催制限の段階的緩和基準に収まっている。
5) 直近の感染状況において、市中感染（感染経路不明者）が増加していない。
6) 主催者および関係者に感染者がいない。

以上の６項目において、すべてクリアされている場合に開催する。

各エリアへ設置した感染対策喚起看板

飛沫防止アクリル板を設置したテラス席

サーマルカメラでの検温

普段とは違う駅前

夜はワインなどお酒も飲めて賑わう駅前

駅前に設置されたテーブルで飲食する親子

オープンテラスでくつろぐ来街者

大勢の人で賑わうアイネスフクヤマ前の歩道

歩道に並べられたキッチンカーも大人気

福山天満屋正面エリアのようす

駅前シネマモード前の出店のようす

各エリアの歩道を彩った花オブジェ

伏見町
道路にテーブルと椅子を設置した実証実験のようす

このたびの「ＯＰＥＮ　ＳＴＲＥＥＴ　ＦＵＫＵＹＡＭＡ」は、コロナ禍で市内のさまざまなイベントが軒並み自粛されている中、「新しい日常下での、にぎわいづくりの社会実験」として、実行委員会で独自の開催基準を設け、感染対策を徹底して開催いたしました。２日間を通して、実行委員会の想定を上回る人出で賑わい、コロナ禍の中にあっても感染対策を可視化し、きちんとした対策を講じれば、秩序のとれた賑わいは生み出せると実感したところです。

コロナ禍の終息がまだまだ見通せない状況下、社会経済活動と感染防止対策の両立は不可欠の時代となっています。今後とも、こうした観点をしっかりと踏まえながら、福山駅前等の再生・活性化に資する賑わいづくりに果敢にチャレンジしていきたいと考えておりますので、引き続き、ご理解・ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

最後に、開催に当たって、これまで同様、準備段階から期間中を通じて多大な協力をいただいた福山市立大学の皆さま方に、改めて感謝申しあげます。

福山駅前等歩道空間活用社会実験実行委員会 委員長 小川　智弘（福山商工会議所 専務理事）